

Infant Scientist

赤ちゃん・ちびっこ通信



「赤ちゃん研究員」にご登録、ご協力をいただきまことにありがとうございます。2024 年度のご報告が大変遅くなってしまうおわび申し上げます。お忙しい中、本年度も対面・オンラインの調査にご協力くださいました皆様には、改めてお礼申し上げます。調査期間中のご都合や、調査対象年齢年齢の関係でお待ちいただいたままになってしまった方には、せっかくご登録を頂きながら本当に申し訳ありませんでした。

「九州大学赤ちゃん研究員」は、2024 年 3 月末時点で 2296) 名の方(ご卒業された方も加えるとこれまで 3031 名の方)にご登録・ご協力を頂いてまいりました。ご協力いただいた調査成果をもとに、今年度は 3 件の学術論文を発表することができました。また、6 件の学会発表、6 件の招待講演をおこないました。論文のうち 1 件は、中央ヨーロッパ大学(ハンガリー／オーストリア)との国際共同研究によるものです。このようなかたちでまとめさせていただいているひとつひとつの発見や知識が、赤ちゃん・お子さん、保護者の方にご協力いただいたことによって成り立っていることを忘れず、今後もひきつづき日々の調査・研究にあたります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

現在は、大橋キャンパスの調査室に加えて、伊都キャンパスの調査室の稼働もおこなっております。対面での調査をお願いする場合、お住まいの地域、調査の内容によって、「伊都キャンパス調査室」へのお願いになる場合があります。その場合、私どもも十分に確認してご案内させていただきますが、「大橋キャンパス調査室」とはかなり離れていますので、どうぞお間違えにならないよう、よろしくお願い申し上げます。

九州大学人間環境学研究院
橋彌和秀

今年度ご協力いただいた&現在進行中の調査をご紹介します

「本当はこう、でもあの人はこう思っている」 誤信念理解の発達

担当：岸本 励季 対象月齢：3~5 歳

ヒトは、他者が事実ではなく「その人自身が真実だと信じていること」に基づいて行動すると予測します。つまり、現実の事実と他者の信念が異なっても、その人が信じている内容に従って行動すると考えるのです。このような「誤信念の理解」が何歳頃から見られるようになるのかについては、現在も議論が続いています。そこで本調査では、映像に泥棒と警官が追いかけっこをしているといった明確なストーリー性を持たせることで、誤信念理解が促進されるかどうかを検討しました。本調査は、皆さまのご協力により無事終了いたしました。現在は、共同研究者と協力しながら、データの分析を進めております。

コミュニケーション場面における曖昧発話の解釈

担当：新田 博司・服部 楓 対象年齢：5~6 歳・8~9 歳

この調査では、幼児期および児童期の子どもが、社会的規範に違反した他者が示す恥感情をどのように認識し、その認識にはどのような認知能力が関与しているのかを明らかにすることを目的としています。恥感情は社会的規範の違反によって生じ、自分自身への否定的な評判の拡散を抑える働きがあるとされ、大人においてはその社会的機能が実証的に確認されています。調査は、5-6 歳の幼児と 8-9 歳の児童を対象に実施しました。課題は、社会的規範に違反する場面で、異なる感情を表出する登場人物を評価する「シナリオ課題」、他者の知識状態を推論する「他者理解課題」、自身が社会的ルールを破った際の恥感情の程度を問う「想像課題」の 3 つで構成されています。現在、進行中のため、結果等の詳細な報告についてはお時間をいただきます。

試行錯誤の模倣から子どもたちが辿る言語習得過程

担当：服部 楓 対象年齢：2~6 歳・成人

子どもたちが試行錯誤しながらことばを習得していく中で、聞こえた音を模倣し、親や周りの大人からフィードバックを受けて修正していくことは、言語を習得中のお子さんに頻繁にみられます。この調査では、言語習得過程の子どもが周囲からフィードバックを受けて試行錯誤する過程を明らかにすることを目的としています。例えば、救急車のおもちゃを指して「パーポーパーポー」と言うなどお子さん自身の発話に対し、親が「ピーポーピーポーだよ」とコメントをした後にみられるお子さんの発話がどのように変化するか検討します。今後、学童期前までのお子さまにご協力をお願いする予定なので、その際はご協力をどうかよろしくお願い申し上げます。

研究室からのお知らせ

◆2019 年度より、赤ちゃんラボ（調査室）が九州大学の大橋地区に移転しました。

〒815-0032

福岡県福岡市南区塩原 4-9-1 九州大学 大橋地区レンタルラボ
アドバンストデザインプロジェクト棟 4 階共同研究室-2

◆2023 年度より、これまでの大橋地区の調査室（赤ちゃんラボ Ohashi）に加えて、赤ちゃんラボ Ito（調査室）を九州大学伊都キャンパス内に新設しました。

〒819-0395

福岡県福岡市西区元岡 744 九州大学 伊都地区
イーストゾーン行動実験棟 1 階 104 号室

◆調査の内容とお住まいの地域によってふたつのラボを並行して稼働します。調査にお越しいただく際には、どちらのラボでの調査か必ずお伝えしますので、くれぐれもお間違えの無いようにご注意ください

◆2023 年度より、小学校に入学されるお子さんのいらっしゃるご家庭には「子ども研究員」への自動的に継続登録をさせていただきます。引き続きのご理解、ご協力をお願い申し上げます。

◆お引越などで登録内容（電話番号・住所など）に変更が生じた場合、また遠方へのお引越し等、理由の如何を問わず登録の解除を希望される場合は、HP のフォームよりご連絡ください。変更の手続きをさせていただき、個人情報は責任をもって削除いたします。

九州大学 人間環境学研究院・教育学部 発達心理学講座

橋彌 和秀（はしや かずひで）教授

〒819-0395 福岡市西区元岡 744

イーストゾーン 1 号館 E-A306

TEL & FAX (092) 802-5170

Email: babykyushu@yahoo.co.jp

HP: <http://www.babykyushu.org>

